

# 相続で失敗しないためのチェックリスト

— 相続登記・遺産承継を進める前に必ず確認しましょう —

## 相続確認チェックリスト

- 相続人・遺言**
  - 相続人を全員正確に把握している（戸籍を出生から死亡まで確認）
  - 遺言書の有無を正式に確認した（自宅・公正証書・法務局）
  - 遺言書の内容を理解している（誰が・何を・どれだけ相続するか）
  - 遺留分を侵害する内容になっていないか気になっている
- 財産の把握**
  - 不動産・預貯金・有価証券・保険を一覧化している
  - 不動産の所在地・地番・名義人を把握している
  - 借金・保証債務・未払金がないか確認した
  - 名義預金・使途不明金がないと言い切れる
- 期限・手続**
  - 相続登記の義務化（期限3年・過料）を理解している
  - 相続税の申告が必要かどうかを把握している
  - 期限（相続放棄3か月・準確定申告4か月・税申告10か月）を知っている
- 相続人との関係**
  - 相続人全員と連絡が取れる状態にある
  - 遺産分割の大まかな方向性を共有できている
  - 費用負担・立替金について揉めそうな気配はない

## 専門家への相談をおすすめ

1つでも該当したら要注意です

- 未成年者・認知症・行方不明者が相続人に含まれている
- 相続人同士の関係が微妙、または過去に揉めた経緯がある
- 不動産が共有名義になる可能性がある
- 未登記建物・境界未確定の土地がある
- 今回だけでなく「次の相続（二次相続）」が不安
- 相続後の不動産をどうするか決まっていない（売却・保有）

## ご相談の目安

上記の20項目のうち、以下の状態の場合相続トラブルや手続きの長期化につながる可能性があります。  
早めに専門家へ相談することで、時間・費用・家族関係のリスクを最小限に抑えられます。

- 「相続確認チェックリスト」で不安が残る項目がある場合
- 「専門家への相談をおすすめ」に1つでも該当する場合

